

In brief

The latest news in financial reporting

pwc

No. US2016-11
March 18, 2016

FASB が本人か代理人かの検討に関する 収益ガイダンスの修正を最終化

要点

FASB は新収益基準の本人か代理人か(収益を総額表示するか純額表示するか)の検討に関する修正を最終化しました。FASB と IASB はこれらの修正についてもコンバージェンスを維持しています。

最新の動向

米国財務会計基準審議会 (FASB) は、2016年3月17日、収益取引において企業が本人か代理人かを評価するための新収益基準のガイダンスの修正¹を最終化しました。この結論は、企業が収益を総額表示するか純額表示するかに影響を与えます。本修正は、収益認識に関する移行リソースグループ (TRG) によって議論された適用上の論点に対処することを意図したものです。

本修正は、契約における本人は顧客に移転される前に財またはサービスを支配しているというガイダンスを保持しており、以下を明確にしています。

- 企業はまず、顧客に提供すべき特定された財またはサービスを識別しなければならない
- 本人か代理人かの検討のための会計単位は、契約においてそれぞれの特定された財またはサービスである
- 収益基準における指標は、企業が本人であるかどうか(つまり企業は顧客への移転前に財またはサービスを支配しているかどうか)を評価するにあたりどのように役立つか
- 企業が別の当事者(例えば、請負業者)が行ったサービスを支配しているかどうかをどのように評価するか

FASBは、これらの修正の一部として、指標を再構成し、企業が本人である場合の指標を提供するとともに、指標のうち2つ(「企業の対価が手数料の形式によるもの」および「企業が信用リスクにさらされていない」)を削除しました。また本修正は、契約の条件によっては各指標が支配の判定への関連性が高い場合も低い場合もあることを明確化しています。FASBはガイダンスに対する修正を反映するために、関連する設例を改訂し、新たな設例を追加しました。

なぜ重要か

本修正は、本人か代理人かの検討を明確化するために範囲を限定した改善を行うものであり、ガイダンスがより運用可能なものとなり、結果としてより首尾一貫した適用となるよう意図されています。ただし、本修正により本人か代理人かの評価に関連する複雑な判断のすべてが解消されるわけではありません。PwCは、本修正が、国際会計基準審議会 (IASB) が4月に最終化を予定している本論点の明確化とコンバージェンスされると考えます。

¹ 会計基準アップデート (ASU) No. 2016-08 「顧客との契約から生じる収益 (Topic 606) : 本人か代理人かの検討 (総額表示または純額表示による収益の報告)」 (Revenue from Contracts with Customers (Topic 606) : Principal versus Agent Considerations (Reporting Revenue Gross versus Net))

次のステップ

本修正の発効日および経過措置の要求事項は新収益基準と同じであり、12月決算の公開会社については2018年より適用され、2017年において早期適用が認められます。非公開会社は一年遅れて新基準が適用されます。

FASBは近く、ライセンスおよび履行義務の識別に関するガイダンスに対する最終の修正、および収益基準に対するその他の狭い範囲の修正を公表する予定です。またFASBは、さまざまな技術的な修正および改善を含む公開草案の公表も予定しています。

適用上の論点を議論する次回のTRG会議は、4月18日に開催される予定です。

より詳しい情報については、PwCの情報サイトInformにて[In transition US2015-05](#) (会員コンテンツ)をご参照ください。

© 2016 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC Network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details. This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.